



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月14日

上場会社名 株式会社Kids Smile Holdings 上場取引所 東  
 コード番号 7084 URL <https://www.kidssmile-hd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中西 正文  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 田上 節朗 (TEL) 03-6421-7015  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	6,163	7.5	383	43.6	△35	—	56	△77.2	27	△81.7
2023年3月期第2四半期	5,731	8.5	266	△0.1	△164	—	248	△80.2	152	△81.2

(注1) 包括利益 2024年3月期第2四半期 19百万円(△87.3%) 2023年3月期第2四半期 152百万円(△81.2%)

(注2) EBITDA (営業利益+減価償却費)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	8.63	8.59
2023年3月期第2四半期	47.10	46.85

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	12,729	6,216	48.8
2023年3月期	13,845	6,196	44.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 6,216百万円 2023年3月期 6,196百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	12,220	3.0	70	—	122	△67.8	80	△57.5	24.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(参考) EBITDA 900百万円

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	3,243,950株	2023年3月期	3,242,950株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	—株	2023年3月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	3,243,184株	2023年3月期2Q	3,241,895株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
3. 補足説明	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に変更されたこと等により社会経済活動の正常化が進み、インバウンド需要をはじめとする消費の回復等、景気回復の動きが見られる一方、ロシアのウクライナ侵攻等による影響が長期化しており、燃料や原材料の価格高騰及び円安進行による物価上昇等の影響により、景気を下押しするリスクに引き続き留意が必要な状況にあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する保育・幼児教育市場においては、政府が2023年6月13日に「こども未来戦略方針」を閣議決定し、少子化対策を政策の大きな柱の一つとして、こども・子育て世帯をライフステージに応じて切れ目なく支援する方針を打ち出しました。この中で就労要件を問わず時間単位で保育所を柔軟に利用できるようにする「子ども誰でも通園制度（仮称）」の創設を目指し、2024年度からの本格実施に向けて、一部の市区町村でモデル事業として実施が始まっています。

また、こども家庭庁が公表した「保育所等関連状況取りまとめ（2023年4月1日）」によりますと、保育所等数および利用定員数が増加する中で、保育所等利用率は全体で52.4%（前年から1.5ポイント上昇）と上昇傾向が続く一方、保育所等待機児童数は2,680人と減少傾向が続いており、待機児童のうち1・2歳児が2,280人と85.1%を占めています。

このような環境の中、当社グループは、「教育を通じて社会に貢献する」「未来に輝く子どもたちを育てる」という使命のもと、子どもたちの自ら学ぶ力を育ていけるよう、「プレミアム教育サービス事業」、「認可保育所事業」を事業展開し、多彩な教育プログラムと期待に応える保育サービスの提供に取り組んでまいりました。

プレミアム教育サービス事業では、新規業態の第1号施設として2023年4月1日に開校したキッズガーデングローバルスクール錦糸町、またプレミアム教育のフラッグシップ施設としてスタートした大型施設キッズガーデン南青山が順調に推移しています。また、2023年8月8日に「麻布台ヒルズ」に新たな幼児向け施設を新規開設する予定を発表しました（オープン時期は未定）。この施設では、バイリンガル教育に加え、アート溢れる「麻布台ヒルズ」の環境を活かした教育プログラムを提供し、パワーアップしたプレミアムスクールとする予定です。

認可保育所事業は、サービスレベルの向上に向けた研修を強化するとともに、不適切保育防止にむけた施策を推進し、保育の質向上への取り組みを行ってまいりました。また積極的に「入園前説明会」を開催し、当社グループ園の特徴の紹介や育児相談を行うなど、「利用者から選ばれる園」に向けた情報発信と職員の意識向上を進めてまいりました。新規開設としては、2023年4月1日、東京都練馬区に「キッズガーデン練馬関町」をオープンしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間末における当社グループが運営する施設数は、認可保育所を東京都・神奈川県・愛知県に70施設、プレスクール一体型保育所（認可外保育施設）、幼児教室及び学童施設、スイミングスクールを東京都に9施設合計79施設を展開し運営しております。

以上により、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高6,163百万円（前年同四半期比7.5%増）、EBITDA 383百万円（前年同四半期比43.6%増）、営業損失35百万円（前年同四半期は営業損失164百万円）となりました。経常利益につきましては、営業外収益に計上しております補助金収入が、認可保育所の開設数減少（当第2四半期連結累計期間は1施設、前年同四半期連結累計期間は3施設）に伴い前年同四半期より319百万円減少し56百万円（前年同四半期比77.2%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、27百万円（前年同四半期比81.7%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、12,729百万円(前連結会計年度末は13,845百万円)となり、前連結会計年度末に比べ1,115百万円減少しました。その内訳は以下のとおりとなります。

### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、3,631百万円(前連結会計年度末は4,277百万円)となり、前連結会計年度末に比べ645百万円減少しました。これは現金及び預金の減少(557百万円)、前払費用の減少(53百万円)、及び未収入金の減少(35百万円)等があったことによるものであります。

### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、9,097百万円(前連結会計年度末は9,567百万円)となり、前連結会計年度末に比べ470百万円減少しました。これは敷金及び保証金の増加(25百万円)等があったものの、建物及び構築物(純額)の減少(133百万円)、建設仮勘定の減少(255百万円)、及び長期前払費用の減少(68百万円)等があったことによるものであります。

### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、2,257百万円(前連結会計年度末は3,320百万円)となり、前連結会計年度末に比べ1,062百万円減少しました。これは短期借入金の減少(855百万円)、1年内返済予定の長期借入金の減少(136百万円)、及び未払金の減少(103百万円)等があったことによるものであります。

### (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、4,255百万円(前連結会計年度末は4,328百万円)となり、前連結会計年度末に比べ72百万円減少しました。これは長期借入金の減少(27百万円)、及び繰延税金負債の減少(55百万円)等があったことによるものであります。

### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、6,216百万円(前連結会計年度末は6,196百万円)となり、前連結会計年度末に比べ20百万円増加しました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加(27百万円)等があったことによるものであります。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」)は、前連結会計年度末に比べ557百万円減少し、2,213百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、534百万円(前年同四半期は623百万円の増加)となりました。

主な内訳は、未払金の減少(28百万円)、前受金の減少(37百万円)等による資金の減少があったものの、未払費用の増加(33百万円)、税金等調整前四半期純利益(56百万円)、減価償却費(420百万円)、及び売上債権の減少(69百万円)等による資金の増加があったことによるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、62百万円(前年同四半期は69百万円の減少)となりました。

主な内訳は、保育施設の新規開設に伴う有形固定資産の取得(69百万円)等による資金の減少があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1,029百万円(前年同四半期は1,442百万円の減少)となりました。

主な内訳は、長期借入れによる収入(150百万円)による資金の増加があったものの、短期借入金の純増減額(855百万円の減少)、及び長期借入金の返済による支出(314百万円)等の資金の減少があったことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、概ね当初計画通りに進捗しております。つきましては、前回発表(2023年5月15日付「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」)の連結業績予想からの変更はありません。今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,770,783	2,213,370
売掛金	45,431	38,706
前払費用	431,195	377,301
未収入金	1,007,314	971,389
その他	33,143	38,804
貸倒引当金	△10,515	△7,664
流動資産合計	4,277,353	3,631,908
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,803,111	7,669,462
工具、器具及び備品（純額）	116,275	97,843
建設仮勘定	262,114	6,170
その他（純額）	49,200	40,978
有形固定資産合計	8,230,703	7,814,454
無形固定資産		
その他	4,530	4,301
無形固定資産合計	4,530	4,301
投資その他の資産		
投資有価証券	54,383	40,994
長期前払費用	444,827	376,447
敷金及び保証金	814,664	840,475
繰延税金資産	14,448	20,815
その他	5,398	1,263
貸倒引当金	△1,226	△1,226
投資その他の資産合計	1,332,496	1,278,769
固定資産合計	9,567,730	9,097,525
資産合計	13,845,083	12,729,433

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	1,380,700	525,000
1年内償還予定の社債	145,000	145,000
1年内返済予定の長期借入金	578,649	442,112
未払金	398,041	294,625
未払費用	220,308	251,012
未払法人税等	161,242	94,636
賞与引当金	261,200	278,620
その他	175,612	226,822
流動負債合計	3,320,754	2,257,830
固定負債		
社債	710,000	710,000
長期借入金	1,109,565	1,081,652
資産除去債務	179,380	191,963
役員退職慰労引当金	29,525	38,925
繰延税金負債	2,057,469	2,002,427
退職給付に係る負債	74,137	82,447
長期前受金	143,774	130,879
その他	24,220	17,000
固定負債合計	4,328,071	4,255,294
負債合計	7,648,826	6,513,125
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	600,852	601,202
資本剰余金	500,852	501,202
利益剰余金	5,100,982	5,128,976
株主資本合計	6,202,686	6,231,380
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△301	△9,609
退職給付に係る調整累計額	△6,184	△5,519
その他の包括利益累計額合計	△6,486	△15,128
新株予約権	57	57
純資産合計	6,196,256	6,216,308
負債純資産合計	13,845,083	12,729,433



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	5,731,302	6,163,894
売上原価	5,210,865	5,495,328
売上総利益	520,437	668,566
販売費及び一般管理費	684,945	704,428
営業損失(△)	△164,508	△35,862
営業外収益		
補助金収入	419,511	99,844
その他	6,696	6,673
営業外収益合計	426,208	106,517
営業外費用		
支払利息	10,398	7,291
社債利息	1,630	1,371
支払手数料	10	—
その他	1,564	5,353
営業外費用合計	13,604	14,016
経常利益	248,095	56,638
税金等調整前四半期純利益	248,095	56,638
法人税、住民税及び事業税	44,061	86,324
法人税等調整額	51,352	△57,679
法人税等合計	95,413	28,645
四半期純利益	152,681	27,993
親会社株主に帰属する四半期純利益	152,681	27,993

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	152,681	27,993
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△9,307
退職給付に係る調整額	234	665
その他の包括利益合計	234	△8,642
四半期包括利益	152,915	19,351
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	152,915	19,351

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	248,095	56,638
減価償却費	432,535	420,217
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△2,850
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,806	17,419
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	9,400
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,367	9,327
補助金収入	△419,511	△99,844
支払利息	10,398	7,291
売上債権の増減額(△は増加)	39,562	69,758
未払金の増減額(△は減少)	△30,194	△28,263
未払費用の増減額(△は減少)	△25,771	33,144
前受金の増減額(△は減少)	△15,108	△37,222
その他	57,142	142,553
小計	317,321	597,571
利息及び配当金の受取額	13	13
補助金の受取額	419,511	99,844
利息の支払額	△10,105	△6,762
法人税等の支払額	△102,906	△152,579
役員退職慰労金の支払額	—	△3,804
営業活動によるキャッシュ・フロー	623,834	534,283
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△69,086	△69,116
資産除去債務の履行による支出	—	△4,850
無形固定資産の取得による支出	—	△285
保険積立金の解約による収入	—	7,361
敷金及び保証金の回収による収入	—	4,500
その他	△368	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△69,455	△62,390
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,191,899	△855,700
長期借入れによる収入	118,300	150,500
長期借入金の返済による支出	△358,494	△314,949
新株予約権の行使による株式の発行による収入	2,100	700
その他	△12,426	△9,855
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,442,420	△1,029,305
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△888,040	△557,412
現金及び現金同等物の期首残高	3,153,724	2,770,683
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,265,683	2,213,270

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

新株予約権の行使に伴い、当第2四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ350千円増加し、資本金が601,202千円、資本準備金が501,202千円となっております。

(セグメント情報等)

当社グループの事業セグメントは、幼児教育事業の単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

## 3. 補足説明

当社グループは、次世代を担う子どもたちを育成する保育と幼児教育を主な事業としているため、幼児教育事業の単一セグメントとしております。

つきましては、補足情報として、売上実績を下記のとおり開示いたします。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) (千円)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) (千円)	前年同期比 (%)
幼児教育事業			
一時点で移転される財又はサービス	5,721,370	6,152,099	107.5
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	9,931	11,795	118.8
合計	5,731,302	6,163,894	107.5